

令和4年度 学校経営方針

1 学校教育目標

郷土を愛し、確かな学力と豊かな心を身につけた、健康でたくましい児童の育成

2 経営方針

- (1) 人権尊重を基盤に、児童一人一人のよさや可能性の伸長を図るとともに、豊かな人間性と確かな学力、健康・体力を併せ持った「生きる力」を育てる。
- (2) 地域の特性を生かし、地域に開かれた特色ある教育の推進を図り、郷土を愛する児童を育成する。
- (3) 児童一人一人のニーズに対応したきめ細かな特別支援教育を推進する。
- (4) 保護者や地域の人々、関係機関との連携を密にし相互理解と協力のもとで、安全・安心で地域から信頼される学校づくりに努める。
- (5) 学校教育目標の具現化に向け、全教職員が参画する創造的な学校運営を推進する。
- (6) 研修を充実し、授業改善、指導力の向上を図るとともに、自己研鑽を積み重ね、資質・能力の向上に努める。
- (7) 若手教員研修を実施し、若手教員や講師の指導力の育成を図る。
- (8) 業務改善の視点から学校行事等の見直しを図り、職員の負担軽減に努める。

3 めざす児童像

①進んで学ぶ、かしこい子

- ・めあてを持って進んで学び考えを深め、自分の考えを表現できる子
- ・納得するまで追究する子
- ・学んだことを生かす子

②思いやりのある、やさしい子

- ・助け合い、励まし合う子
- ・自己をふり返り、よりよい生活を目指す子
- ・さわやかなあいさつをする子
- ・郷土や学校のよさを知る子

③健康で、たくましい子

- ・目標に向かい努力する子
- ・進んで運動し体を鍛える子
- ・健康や安全に努める子
- ・粘り強くがんばる子

4 めざす学校像

- ①よりよいものを求めて、磨き合う学校
- ②みんなが仲良く、個性が光る学校
- ③互いに助け合い、和を大切にする学校
- ④きれいで安全な学校
- ⑤地域と歩み、保護者・地域に信頼される学校

5 めざす教師像

- ①子供の命と健康を守る教職員
- ②子供の目線でふれあう教職員
- ③自己研鑽に努め、わかる授業づくりを進める教師、やる気と使命感のある教師
- ④人間性豊かで、保護者や地域から信頼される教師
- ⑤学校の一員としての自覚を持ち、積極的に教育実践に取り組む教師

6 学校経営の重点

(1)「進んで学ぶ、かしこい子」の育成のために

- 基礎的・基本的な学力の定着を図る授業実践
 - ・ノート指導を中心とした、問題解決学習を重視する。
 - ・朝自習の内容や教科の取り組みを工夫し、書く力の育成を図る。
- 主体的・対話的で深い学びの実現
 - ・習得、活用、探究という学習サイクルを確立し、学習活動の質を高める。
 - ・『思考し、表現する力』を高める実践プログラムを活用し、思考力・表現力を高める。
- 読書教育の推進
 - ・読み聞かせボランティア等の人材を活用し、朝読書の充実を図る。
 - ・読書活動や読書意欲を高める取り組みを実施する。(読書の木、いいねこの本等)
- 外国語教育の充実
 - ・A L T等の人材を活用し、外国語教育の質的向上を図る。
 - ・外国語担当教員を中心とした研修を充実させ、教員の指導力向上を図る。
- 情報活用能力を育むI C T利活用の推進
 - ・I C T活用を研修の中心に据え、職員の情報活用能力の質的向上を図る。
 - ・1人1台端末など、I C T機器を効果的に活用をした授業改善を図る。
- 家庭学習の習慣化促進
 - ・「家庭学習のすすめ」を全家庭に配付し、家庭学習の習慣化を図る。
 - ・「ちばっ子チャレンジ100」やeライブラリの活用を促進する。
- 学校体制で取り組む特別支援教育。
 - ・児童一人一人の実態に応じたきめ細やかな指導の一層の充実を図る。
 - ・個別の学習指導を充実し、基礎・基本の定着を図る。(放課後学習クラブの実施等)
- 資質・能力の向上を目指した、教職員研修の充実
 - ・校内研修を充実し、教職員の指導力の向上を図る。
 - ・若手教員研修を実施し、若手教員の指導力の育成を図る。

(2)「思いやりのある、やさしい子」の育成のために

- 豊かな人間性や社会性を育む道徳教育の充実
 - ・道徳科の研究成果をもとに、道徳科の更なる質的向上を図り、豊かな心を育む。
 - ・道徳科の授業公開を実施し、家庭・地域と連携した道徳教育を推進する。
 - ・「さわやかあいさつ運動」と「ぼかぼか言葉」を励行する。
- 生徒指導体制の確立と教育相談の充実(全職員で全校児童を支援する。)
 - ・家庭・地域・関係機関と連携した生徒指導体制で取り組む。
 - ・教育活動全体を通じた児童理解と教育相談活動の充実を図る。(SC、子どもと親の相談員の活用)
 - ・毎月の「いじめアンケート」実施などを通して、いじめの早期発見・早期対応を心がける。
- 郷土への愛着を深める学習や体験活動の充実
 - ・郷土の伝統や文化、自然などの素材の教材化を図り、郷土や学校への愛着を育む。

(3)「健康で、たくましい子」の育成のために

- 自身の健康管理と衛生管理の徹底(新型コロナウイルス対策)
 - ・毎朝の検温と手洗い・うがい、マスクの着用を徹底する。
- 家庭と連携し、健康・安全で活力のある生活を営む基本的な生活習慣の育成
 - ・「早寝、早起き、朝ごはん」の励行と習慣化を促す。
 - ・食に関する指導や「食と健康教室」により食育の充実を図る。
- 積極的に運動に親しむ態度の育成と体力の向上を図る。
 - ・教科体育の充実や、ロング昼休みの計画的な実施、向寒マラソン、部活動等で体力の向上を図る。
- 「継続すること」の大切さに迫る指導の充実(根気強くあきらめない心を育てる。)
 - ・一人一人の子どもの頑張りを称賛したり認め合ったりする場を設定し、子どもに自信をもたせる。

(4)「地域と歩む学校づくり」の推進のために

- 家庭・地域と連携した安全・安心で開かれた学校づくりの推進
 - ・学校教育目標について、保護者会や学校だより等を活用し周知を図る。
 - ・防災教育を充実させるとともに、家庭・地域・関係機関と連携して安全・安心な学校づくりをする。
 - ・学校だより、HP、学校公開等により学校の実践や子供たちの活動の様子を積極的に発信する。
 - ・学校評価やミニ集会等での意見・要望を今後の教育活動に生かす。